昭和51年9月5日
広報あじす　毎月5日
お知らせ版　毎月20日　発行

山口県吉敷郡阿知須町
発行 阿知須町役場
電話4111番㊥・〒754—12

印刷 阿知須砂郷よしの印刷

広報あじす

№298

町の住民登録人口
（51年8月31日現在）前月比
世帯　2,120世帯　＋2
人口　8.221人　−1
（男3.872人　女4.349人）
（国勢調査　昭和50年10月1日）
世帯　2.113世帯
人口　8.137人
男3.771人　女4.366人

老後を楽しく

盆栽・陶芸・版画づくり
講話を聞いたり発表会も

九月は・老人福祉月間・。長い間、社会のために尽した人たちの功を讃え、ねぎらうと共に、老後を豊かに送ってもらうための施策を進めていこうとするのがねらいです。

そこで、本町の老人関係の施策を眺めてみましょう。

昨年の国勢調査によると本町の六十歳以上は約千人。総人口の八人に一人は六十歳以上ということになります。そのうち老人クラブ加入者は八百四十四人（九月一日現在）です。町ではこうした機会をつくったりしています。

いま、継続的に開いているのが老人大学、園芸・盆栽・陶芸・版画教室。

老人大学は毎月一回をたてまえとして講師を招いての講話をしています。一般教養、時事、歴史、交通安全、健康問題などをとりあっての話、出席者は毎回二百人ぐらいです。

園芸・盆栽教室は別個の講座ですが、花づくりを楽しむ人は盆栽にもいそしむ人が多いようです。したがって両方の勉強をする人もめだちます。育てる喜びとそれは子どもを育て終えた人が、今度は植物を手しおにかけて育てるようとゝびを味わうとする真剣さが見受けられます。菊づくりや各種の盆栽の手入れなど実習が大いに役立っているようです。

陶芸教室は土をねって、自分で作るよろこびを味わっています。受講者は十人だけですが、窯から出すときは「胸がわくわくする」という人もあります。スリルを味う瞬間でもありましょう。

指導者は魚谷喜市さん（南視）

版画教室は中学校の美術室を会場として、講師は同校山野敬助教諭。これも創造のよろこびが味えとして講師を招いての講話をしわゝるとあって真剣に取組んでいます。

明治、大正、昭和と激動の中を夢をいま一度求めてみようとするもの、あるいは、自分を再発見する意味で参加している人などさまざまですが、このような時間が、生きがいを増していることは違いないようです。

こうした学習の場を発表として、毎年一回、秋第一回老人体育祭を催しましたが、今秋も開く予定です。ことしは、健康づくりの一つとして昨年は区域内にあるのを除去した地区（鴨生原）もありました。特に休耕地、休閑地には繁殖がひどいので、私有地ではびこっているところの所有者は除去されるようおすすめします。

なお、ことしの敬老会招待者は五百八十人。ことし七十歳になった人、またはなる人は五十七人（男一八、女三九）です。

（上）老人大学でのお勉強　（左）大学祭では踊りも発表
（右）女性も多い盆栽教室

（とじておくと便利です）

九月は健康に関する行事がいっぱい

九月は健康増進普及運動、ガン征圧月間、精神薄弱者愛護、船員労働安全衛生月間をはじめ、下旬には交通安全運動（21〜30日）環境衛生週間（21〜27日）結核予防週間（24〜30日）など健康に関する運動行事が盛りだくさんです。

気候がよくなる夏の間、食べ過ぎて胃腸をこわすおそれがあります。食べ過ぎないこと、適当な運動をしてストレス解消をはかること、それが胃腸の働きをよくする一つの方法でもあります。

結核難患者として山口保健所台帳にのっている人は本町で二十四人です。十年前と比べて五分の一です。結核菌者（菌の出る者）は全員入院加療中。年齢は四十歳代、職員は昨、一昨年とおり班を編成し、公共用地に咲いているのを退治することにしています。

結核検診は毎年一回レントゲン車が町内を巡回、在宅者や町内事業所勤務者など対象に行っており早期発見につとめているのが役立っているようです。

みんなで退治を

セイタカアワダチソウ

セイタカアワダチソウが花をつける時期になりました。町の男子職員は昨、一昨年とおり班を編成して退治するようおすすめします。

たばこは○。町内で。

十五日に敬老会

余興は安来節など

九十歳以上は八人

九月十五日の敬老の日には町では例年どおり七十歳以上の老人を招き中学校体育館で敬老会を開きます。

午前十時半開会。式のあと十一時半から余興があります。

余興の出演は昨年まで地元の人ばかりでしたが、今回は宇部市の安来節保存会が中心で、踊りも宇部市の舞踊研究グループ。それに本町の演歌同好会が加わって約一時間の予定です。

なお、ことしの敬老会招待者は五百八十人。ことし七十歳になった人、またはなる人は五十七人（男一八、女三九）です。

（九十歳以上）

西中　衛門	明治10年9月	中村
哥川　スエ	17・3	河内
茂谷　賢蔵	18・1	岡
縄本　坂市	〃	小南
杉水キクノ	18・7	日北
西村　伝松	18・12	砂三
福岡　リカ	19・10	浜表
辻田　クニ	19・11	岩辻

（米寿）

縄田　末平	惠比須	
水本　イチ	井関	
林　クニ	篭地	

お知らせ

婦人バレーと町内球技大会

九月二十六日に

町体育協会では第二十五回町内親ぼく球技大会、第十三回婦人バレーボール大会をつぎのとおり開催します。ふるってご参加ください。

▽日時　九月二十六日午前八時
▽場所　雨天の場合十月十日
阿中、阿小グランド
▽方法　十五人制対抗
▽資格　町内在住者（中、高校生の出場は認めない）
▽チーム編成
①一般バレーボール＝一般男女混成で一チーム女子三名以上
②卓球＝一般男女混成で男子二名女子一名
③ソフトボール＝一チーム中三十五〜三十九歳まで三名、四十〜四十四歳まで三名、四十五歳以上が一名、一般女子二名、年齢の多い場合はくじつかえない。
④婦人バレーボール＝既婚者
▽申込み　九月二十一日までに町教育委員会へ

健康づくりと古墳探訪

宇部と一緒に歩け歩け大会

12日阿知須駅〜日の山

町教育委員会は宇部歩こう会と共催で九月十二日に歩け歩け大会を行います。

午前九時半、阿知須駅前に集合し、魚市場＝小古郷を経て日の山に登山、頂上から東岐波月崎側に降りて若宮遺跡までの約四キロのコース。

発足、毎月のように歩け歩け大会を実施、健康づくりにつとめてきました。

毎回、老若男女が参加しており日の山の山頂付近からみる景色、若宮遺跡の見学ができることで今回も多数の参加が見込まれています。

特に若宮遺跡については考古学に精通した人が説明することになっており、健康づくりと考古学の勉強を兼ねることになります。

また、歩こう会事務局は参加者に徒歩数を記した「万歩カード」を配布することにしています。

9月のメモ

10日	版画教室（後1時半・阿中）
12日	歩け歩け大会（前9時半・駅前）
13日	心配ごと相談（前10時）
14日	育児相談（後1時半）
15日	敬老会（前10時半・阿中）
16日	栄養教室（前10時）
17日	移動婦人学級（前8時半・萩市の旧宅、史跡探訪）
21日	あじのす大学（後1時半）幼児相談、三種混合接種（後1時）
22日	原付小型特殊免許試験（前8時半小郡警察署）秋の全国交通安全運動（30日まで）
27・28日	三歳児検診（後1時）〔時間のある催しは役場〕
10日	PTA会費集金
14日	貯金日（井関小）
6日	自由参観日
17日	PTA研修視察（長門市）
6日	代休（阿知須中）
16日	体育大会予行
19日	体育大会
20日	代休

9月の納税

・国民健康保険税　・軽自動車税（随時）
・固定資産税（月割）

ぼくの学校　私の学校

（阿知須小）
6日　給食費開始、給食費集金
7日　発育測定（高学年）
8日　〃（中学年）
9日　〃（低学年）

参加料は不要。誰でも参加できますので多数の参加を望んでいます。

三歳児の検診

九月二十七・八日

町では三歳児検診をつぎのとおり行います。

▽日時＝九月二十七日＝阿小校区（岩倉を除く）二十八日＝井小校区（岩倉を含む）
受付は両日とも午後一時から三時まで
▽場所＝町役場
▽対象者＝四十七年十月二日から四十八年十月一日の間に生まれた幼児
▽料金＝無料

登記の相談ならどうぞ

・法の日・の十月一日

十月一日は・法の日・。県司法書士会は登記の無料相談所を開設することになりました。特に宇部支部（阿知須も含む）は司法書士と土地家屋調査士が一緒になって相談員として回答、指導に当ることになっています。

土地の売買、家を建てたとき、贈与、遺産相続問題など登記に関する相談ごとは何でもよろしい。

善意はここに

日時　十月一日午前十時から午後三時まで
場所　町役場会議室

気軽にご利用ください。

◇社会福祉協議会へ
◇香典返＝▽三万円＝伊藤信正さん（旦北）は一男淳二君の・高野作男さん（井関）は母シズ子さんの。▽二万円＝江口タカさん（浜）は夫敏一さんの
◇一般寄付▽五千円＝福元芳年部（松重仁・部長）は十夜市チャリティーショーの売上金の一部を▽一千円＝中央交通株式会社阿知須営業所（代表・猪野敏夫さん）職員の寄期賞与の一部を
（町へ）
◇広報紙送料▽一万円＝浜中幸之進さん（長崎県松浦市志佐町里免・東区出身）藤川吉良さん（東京都練馬区石神井町五の二の十四・・浜出身）上野和樹さん（青敷郡小郡町山下下・東区出身）
◇眼鏡▽視力度の違った老眼鏡四個＝福田勉さん（西条）は住民課窓口の来客用として

町政だよりの電話サービス……有線電話「117」番でいつでも聞けます。内容は毎週取替え。

学びましょう

学びました 16ミリ映写技術

人は生まれてから死ぬまでが勉強の期間だということで、いま『生涯教育』ということばがよく使われています。それは単に学校で学ぶようなことだけでなく、職業、趣味、教養、その他生きがいを求めたものも含まれています。

町では、そうしたことをも含めて、いろいろな学習の機会を提供していますが、この欄は、その講座で学ぶことや、学んだことなどをとりうえて紹介していきたいと思います。

◇

・百聞は一見にしかず・といいますが、見せて、教え・考えさせる機材としては映画は重要な役割をしてくれます。その映写機を取扱う勉強『十六ミリ映画の映写技術講習会』が八月二十五日から三日間行われました。

このねらいは、町内会や子ども会など地域活動の中で取扱いのできる人養成しようとするもので、この受講者には試験により映写技術者免許を与えることになっています。そして、これらの人に今後、地域で大いに活動してもらおうとの願いが込められています。

今回の受講者は男子九人、女子二人の合計十一人。町社会教育係職員の講義・技術指導で熱心に学び、全員筆記試験にパスし現在、県視聴覚センターに免許証を交付申請中です。これが届けばボランティア（地域活動奉仕者）としてスタートすることになっています。

こうした講習は毎年開催しており、これまでに本町で約六十人が免許を受けています。

（写真は映写機の操作を学ぶ受講者）

町史編さん室だより⑥

年中行事と農民の生活（三）

六月十日―虫除けの祈禱として八幡宮御幣太鼓宿田産大神など行列して田頭を巡幸し、社僧・社人・地下役人が供奉する。

七月中旬―両三夜若衆の男女相つどい盆踊りを行う。

八月十五・十六日―氏神八幡宮の祭礼。村人は休息して参拝する。

また十五日の夜は庄屋宅へ五人組頭を呼び出し、衣服倹約の徴そのほか諸法度を厳守すべき旨を申し渡す。

九月・九月には村々で秋作祭りが行われる。親類、知音の者が互いに往き来し、あるあわせの魚・野菜でドブ酒をくみかわし、豊穣を祝うとある。さらに特筆すべきは、阿知須郡において「家別毎月先祖の忌日に挽茶をたて近隣の婦女を招き合申候十年已来煎茶に変し候へとも麗品（そひ）そまつの茶菓（ちやせん）茶をかきまぜあわせたる道具）天目茶臼など豪々に残居候」とあることである茶道史のうえで、挽茶（ひきちゃ）は「上代に仏前に供えた茶の茶流を満座の衆徒に施す儀式」で、一度衰微したのち鎌倉初期に宋の抹茶法の伝来とともに禅院において行われるようになった。室町時代に入ると闘茶が行われるようになり、さらに千利休の茶道へと発展していくわけであるが、江戸時代に入り煎茶の方が仏事とともに引き継がれ、天目茶碗茶筅といった茶道具が庶民の生活の中に持ち込まれている点に興味をおぼえる。

以上述べたように、村の年中行事を見たとき、虫除け、豊穣の祝といったように生産に密接なかかわりのあることが判る。

さらに行事の行われる日は農民たちにとって休息の日であり、集会の禁止されていた当時にあってこれを許される日でもあり、若い男女は夏の盆踊りを心待ちにし、若さを発散させたことであろう。

成果をあげた遺跡調査

貝殻山 住居あとに素掘りの貯蔵庫 丸塚古墳

本町の先祖の生活様式をさぐる古墳発掘（丸塚）と貝塚遺跡（引野・貝殻山）の調査は夏休み中に行われ、これまで知られなかったことがいろいろ明らかにされました。（前号一部既報）

この調査は町教育委員会が山口大学教育学部・小野忠弘教授らに委嘱して行ったもので、同教授指導のもと冨士慈勇氏（豊浦郡豊洋中学教諭）や町教委職員らが発掘作業に当りました。

その結果、丸塚古墳については現在五基あるうち五号と二号古墳のはじめて」とのこと。遺体が残る五号は約千三百年前（古墳時代後期）のもの、また、そこから約三百㍍北側（岩倉側）にある二号は五号より五十年ばかり新しいものと判りました。

時代を推定するのとしては土器の破片が数多く出ています。特に五号は二号に比べて規模も大きく、花崗岩の自然石を積みあげて作った玄室（遺体を安置する部屋）の中は大人が立てるくらいの高さで、広さは畳約三畳敷きぐらいです。外側は土を覆い半径約七㍍のおわんをふせたような形をしています。玄室から外に向けて幅十五㌢、深さ四㌢、長さ約五㍍の排水溝の跡が見つかりました。

冨士慈氏の話では「奈良地方では見つかっているが、山口県下はこのように完全形で現われた」ということです。

貝殻山で見つかった貯蔵庫

また、粘板岩などの周辺にはないので他の地域と交流があったことが察せられます。

これについて冨士慈氏は「今回見つかった穴は物を入れておく貯蔵庫と思われる。灰も残っているので火を使っていたことが判る土器の破片も二つ出たが、これはよく調べてみないと判らない」と説明しています。

ともあれ、ここは海岸から直線距離で五キロ離れ、標高約百㍍のところですが、そばには貝殻の捨て場だったところがあります。時代は弥生時代（約二千年前）だろうとのことですが、時代の解明は今後の調査を待つことになります。

ことしの調査はこれで終り、さらに調査をするのは来年以降にもできた砦石（といい）もてきち越されました。

直径一㍍、深さ一・五㍍くらいの穴が現われました。また、粘板岩の自然石を積みあげて作った玄室（遺体を安置する部屋）の中は大人が立てるくらいの高さで、広さは畳約三畳敷きぐらいです。外側は土を覆い半径約七㍍のおわんをふせたような形をしています。玄室から外に向けて幅十五㌢、深さ四㌢、長さ約五㍍の排水溝の跡が見つかりました。

冨士慈氏の話では「奈良地方では見つかっているが、山口県下はこのように完全形で現われた」ということです。

そこには直径五十㌢、深さ二十㌢くらいの半球形の素掘りの穴と

県知事選は最高投票率

県知事選挙は八月二十二日行われましたが本町の選挙結果は次のとおりです。投票率は前回（七六・七七％）より上回わり、県知事選では最高でした。

有権者数	五、八二五
投票者数	四、五一八
棄権者数	一、三〇七
有効	四、四五九
無効	五八
不受理	一
投票率	平均七七・五六
	男七八・三九
	女七八・四七
平井　龍	二、七四七
松村あきら	一、七一二

山口県の得票率は次のとおり

当平井　龍	三八八、四四五
次松村あきら	二三三、五一三

県平均の投票率　五九・七三％

小古郷が優勝

子ども会ソフト

第十八回町内子ども会ソフトボール大会は十五チームが参加して行われました。最初は八月三、四日に予定していましたが雨にたたられ、予選一回戦しかできず、二回戦以後の七試合は十九日に延期しての試合でした。

決勝戦は小古郷と鴨生原チームの対戦となり、8対7の接戦で小古郷チームが優勝しました。三位は中西、四位岩倉の順でした。

少年野球クラブが発足

阿知須小学校の生徒を中心とした少年野球チームが八月二十一、二日光市で開かれた県大会（県少年野球連盟主催）に初めて出場、一回戦富田西（新南陽）に7―6で勝ち、二回戦で久米（徳山）に敗れました。参加十六チームで久米が優勝。

本町少年野球クラブは四・五・六年を対象に七月に正式発足し、会員は現在四十一名。西村安則さん（砂三）の指導で厳しい練習を続けており、有望な選手が育ちつつあります。

郵便物の宛て名ははっきり

迷い子が毎日続出

『郵便物の宛名ははっきり書いてください』…いま阿知須郵便局では声を大きくして協力方を呼びかけています。

同局の話によると毎日約二千通の郵便物を扱っているが、毎日十通ぐらいが宛て名がはっきりしていなかったり、転居先不明で迷っているとのことです。

宛て名をはっきり書くことは、郵便物を早く、しかも正確に届けることになります。したがって同局ではこのようなことは必ず守ってほしいといっています。

①転出のときは町役場に転居・転出届を出すと同時に郵便局にも届けておきましょう。届出用紙はいつでもあります。

②郵便物の宛て名は町名・字名番地を正確に。家を借りたり、同居の人に出す場合は「〇〇方」というように書きましょう。差出人の方も正確に記入しましょう。

③郵便受け箱の設置を。局では規格品を一個千四百円であっせんしています。

死亡は脳血管疾患が一位

本町の死亡者

山口県健康所の調べによると昨年一月から十二月までに本町内で死んだ人は五十八人でした。

その死因をみると、一ばん多いのが脳血管疾患の十九人。全体の約三分の一を占めています。

つまり、脳出血、脳軟化症など成人病の主たるもので、三人に一人はこれで死んでいることになります。

ついで悪性新生物（ガン）の十人。これは六人に一人の割合です。

①脳血管疾患一九人②悪性新生物一〇③不慮の事故二人④虚血性心疾患四③高血圧性三③消化性潰瘍二③不慮の事故二④自殺一④その他の心疾患二④気管支炎、周産期死亡、肝硬変、結核など五

役場の窓

◆・ことしの盆は新興住宅地の沖ら広報紙送付の礼状が時々届きます。長い年月、離れていてもるふるさとに思い寄せていただくことを嬉しく思います。最近、届いたものに「要旨」を紹介しましょう。

旅先でお陰で町内のできごとを懐しく拝読致します。暑さ寒さ負けず町政発展のために努力されの市議会の健康をお祈り申上げます。

◆・郷里を離れて活躍中の人から広報紙送付の礼状が時々届きます。長い年月、離れていてもるふるさとに思い寄せていただくことを嬉しく思います。最近、届いたものに「要旨」を紹介しましょう。

旅先でお陰で町内のできごとを懐しく拝読致します。暑さ寒さ負けず町政発展のために努力されの市議会の健康をお祈り申上げます。私も古稀十年（寺河内身）になりますので阿知須町の皆様、上京の節はご連絡をいただけば少々のご案内もできると思います。何卒、ご連絡をお待ち申上げます。

東京都　藤目吉良

（略）　郷里（東区）を出て満三十年になりますが、中村、砂郷（砂三）を出て満三十年になりますが、中村、砂郷（砂三）の指導で厳しい練習を続けており、有望な選手が育ちつつあります。

◆・町議会議員のソフトボール大会の吉敷郡予選が八月二十八日小郡町で開かれました。本町議員チームは秋穂に勝ち、小郡に負けて二勝一敗の成績でした。本町は耦田のてく一部に昔の面影が残り、中田剛議長―砂村（益）議員のバッテリーで善戦したものの、珍プレーもあって結局、小郡に県大会に参加者がふえています。これは町長を出場を譲りました。

◆・郷里を離れて活躍中の人から広報紙送付の礼状が時々届きます。長い年月、離れていてもるふるさとに思い寄せていただくことを嬉しく思います。最近、届いたものに「要旨」を紹介しました。

長崎県・浜中幸之進（旧姓・小林）

◆・町職員のうち、いちばんの永年勤続者だった西村チサエ市員（固定資産税係）が八月末日付で勇退しました。昭和十四年率職以来、実に三十七年間勤め、戦時、戦後の本町の動きを見守ってきたわけです。趣味で裏千家茶道を修め、茶名を得ているので、これからは茶人として日々を送ることになりそうです。ご苦労でした。

みんなの広場

あなたの文芸作品やご意見、お気づきのことなど未発表のものをお寄せください

短歌

秋豆のはえし畑に鳴の群一人ごちつつかかし作れり　小西　平海アサノ

工夫等の炊うシャベルは真夏日の光を反し吾が瞳を射たり　浜　石田サダ子

しだれ柳の影あわあわと川の面に映る夕暮れ雨降り初めぬ　小西　徳本　喜一

昨日照り今日も照りつつ野良仕事　浜　正司ワメノ

月見の宴まで耐えよ草花　小西　藤軍アヤ子

餌を掘る吾のめぐりに潮まねき太きはさみをふりかざしゆく　小東　松尾　君代

餌装路に砂礫の通う蟻の列はかなく生く姿にも似たり　浜　正司ワメノ

日立秋の陽さしを受けて　岩西　中本　幸枝

ひそやかに花芽をつけし庭の梅今　砂三　藤水ミツノ

露地植えのトマト一籠五十円著き目差しの店先に買う　飛石　砂村ヤス子

寂しるき朝の庭に白木槿ふるむもありて清しく咲きぬ　砂一　松代　二郎

勤めより帰りし夜はかけよりし児を抱き額の汗をふきやる　砂三　渡辺　宮子

走り雨に水気含みし津田の浜裸足にて踏む砂の温り　砂一　田村　艶子

幼き日軒下で踊りのけいこせし頃きたる友等を盆に思ふ　北祝　原田　双恵

慶弔録

婚姻（おしあわせに）

磯野隆雄　恵子（有冨）　熊本県長洲町　仙在

出生（おすこやかに）

父　続柄　子の名　月日　部落

萬野シンジ子　8・2　61　井関

池田　龍助　8・3　82　砂二

江口　敏一　8・5　87　浜

松崎　徳彦　8・8　71　浜表

死亡（ご冥福を祈ります）

氏名　月日　年令　部落

大谷茂成　長女　晃代　7・31　源河

石川剛一　長男　靖倫　8・5　岩西前

藤永一美　長男　貴志　8・14　小西

伊東泰正　長男　和正　8・16　井関

宮川泰和　長男　雅之　8・23　前山

伊藤　広一　8・15　63　門松（元町議会議長）

吉本　入人　8・22　84　且西

砂一　田村　艶子

（略）

県下で初めての排水溝

貝殻山 住居あとに素掘りの貯蔵庫 丸塚古墳

本町の先祖の生活様式をさぐる古墳発掘（丸塚）と貝塚遺跡（引野・貝殻山）の調査は夏休み中に行われ、これまで知られなかったことがいろいろ明らかにされました。（前号一部既報）

この調査は町教育委員会が山口大学教育学部・小野忠弘教授らに委嘱して行ったもので、同教授指導のもと冨士慈勇氏（豊浦郡豊洋中学教諭）や町教委職員らが発掘作業に当りました。

その結果、丸塚古墳については現在五基あるうち五号と二号古墳のはじめて」とのこと。遺体が残る五号は約千三百年前（古墳時代後期）のもの、また、そこから約三百㍍北側（岩倉側）にある二号は五号より五十年ばかり新しいものと判りました。

また、八月二十三、二十四日に貝塚（貝殻山）の付近を一部調査したところ住居のあとらしいところが見つかりました。

そこには直径五十㌢、深さ二十㌢くらいの半球形の素掘りの穴と